



営農ウィークリーNEWS

花菜出荷目合わせ会が開催されました



1月15日、乙訓農業構造改善センターにおいて、長岡京花菜部会主催による出荷目合せ会が行われました。

花菜は、伏見桃山で切り花用として栽培されていた寒咲きなたねの蕾を食用にしたのが始まりとされています。

長岡京花菜部会は、平成2年にブランド産地の認証を受けた生産者で構成される府内有数の部会。

毎年出荷最盛期となる出荷開始前の、この時期に目合わせ会を行っておられます。

当日は、全農京都府本部・公益社団法人京のふるさと産品協会・中央会・市場・普及センター・行政・JAなど27人が参加されました。

当日は、全農京都府本部・公益社団法人京のふるさと産品協会・中央会・市場・普及センター・行政・JAなど27人が参加されました。



販売実績や市場情勢を京都青果合同株式会社の安田康二主任より報告がありました。

また、京都乙訓農業改良普及センターの河合優広氏より「根こぶ病」の防除対策について報告がありました。

生産者個々に出荷調整された花菜を持ち寄って規格の確認・詰め方などの技術の情報交換が熱心に行われました。

ブランド品の出荷は、1月の中旬より開始され、4月上旬頃まで続く予定です。



-TAC information-

長岡京花菜部会
ブランド出荷開始!



平成30年1月17日(木)長岡京花菜部会は、ブランド出荷開始に伴い、市場挨拶訪問を実施しました。

当日は、市場関係者との意見交換、そして仲卸業者へのあいさつ回りを行いました。

ブランド出荷は、4月上旬まで行われる予定です!